

中学から大学卒業まで10年間学び、教師として33年間勤めた玉川学園の同窓会に行ってきた。久しぶりの母校は樹木が生い茂り、校門から礼拝堂までの道は緑のトンネルとなっていた。それぞれ近代的な設備が施された建物が多く、昔の面影のある建物は少なくなっている。道路は舗装され、グラウンドは人工芝になっていた。土がだんだん少なくなっていくのが寂しい。

講堂では谷川賢作君のピアノ演奏。篤姫の挿入歌を弾いてくれる。飛び入りで藤田朋子さんがご主人のアコーディオン伴奏を入れておらかな歌声を響かせてくれた。午後からはブラスバンド部の卒業生を中心としたビックバンドの演奏。プロもアマも一緒になって玉川サウンドを奏でる。聞き惚れているうちになつかしさが滲み涙が出てきた。音楽はライブが良い。

二次会には還暦を前にした教え子120名が迎えてくれる。23歳の時に担任をした生徒達だ。その頃は教師と言うよりも兄貴のような存在だったと言われ納得。一人一人とユックリ話が出来なかったが短い会話でも気持ちが伝わり、直ぐにあの頃に戻っていった。皆、良い歳のとり方をしているのがうれしい。彼らと別れてから一人になると、この場に来ていないあの顔この顔が思い出されビールが進む。彼らはどうしているのだろうか。 栄 司

## = 牧場日記 =

- 10月23日 ロールベラーのオーバーホール。  
11月 1日 育成牛・乾乳牛・分娩近い牛の移動をする。  
11月 5日 今年二回目の削蹄。体重の重い牛だけに爪が長いと歩行がスムーズに行かず乳量にも影響するので年2回やることにした。  
11月14日 賢二から牛の管理を替えたいと言ってきた。皆でアイデアを出し合い、オシダファームにマッチした方法を考えていきたい。
- 出産( 4頭 2頭)  
経産牛 51頭 育成牛 34頭 合計 86頭

## = ファーム・イン グリーンツーリズム =

- 10月21日 神奈川県湘南学園の修学旅行生5人が宿泊。牛の世話や薪割りを体験。広い牧草地に星がきらめくのを眺め歓声を上げる。  
10月22日 弟子屈の渡辺牧場で酪農教育ファームの研修会。地域を好きになり、酪農に誇りを持ち、お客様と共に楽しい時間を過ごそうとしている渡辺さんの人柄に好感を持つ。  
10月24日 おかあさん100選IN新得のフォーラムに参加  
「お客さんを元気で迎え、元気に帰ってもらう。それが私流」と美恵子  
11月 4日 MOBIT のフットパス取材のため「新田舎人」編集者水間啓慈さん・ライター大塚義人さん・カメラマン安藤吉郎さんが宿泊。この地の景観は売りになると盛んに話される。  
11月 5日 大樹の 坂根昌幸さん聖子ご夫妻が宿泊。新得で知り合いになった方。ファームインや酪農教育ファームに興味がある方だけに現実的な話が出来た。  
11月10日 週刊誌「女性自身」の記者小嶋美樹さんとカメラマン高田太郎さんが取材のため

宿泊。おかあさん 100 選は大変好評なので今回も掲載したいと。12月未発行。  
11月10日 旧標津線の跡を歩く。旧西別駅から6キロはあまり手を入れなくても歩ける。  
フットパスとしては面白い。これからどのようにするかを検討していきたい。

= 今月の家族 =

今年のピアノ発表会には美恵子・結子・真衣子の3人が出ることになった。その練習が続いている。子供たちはいささか疲れ気味だが日に日に上手になっていく。当日が楽しみだ。  
真衣子の幼稚園最後の生活発表会に行ってきた。知らない間に縄跳びが連続で出来るようになっていたのにはビックリ。

太一は演習場のアルバイトが終わったので冬モードに入った。

= ペット =

羊のサワちゃんと山羊のユキちゃんの小屋をそれぞれ冬用に修理。



玉川学園同窓会 担任した生徒達と



旧標津線跡地フットパスにしたい

尚、NEWS に関するご意見、ご希望もお待ちしています。

---

MONTHLY OSHIDA FARM NEWS 2008年6月20日発行号

発行:(有)オシダファーム

編集 押田 栄司 foshida@aurens.or.jp

監修 押田 賢二 oshida@aurens.or.jp

協力 押田美恵子・押田ひとみ

住所 〒086-0216 北海道野付郡別海町別海275-11

電話 0153-75-0523

---